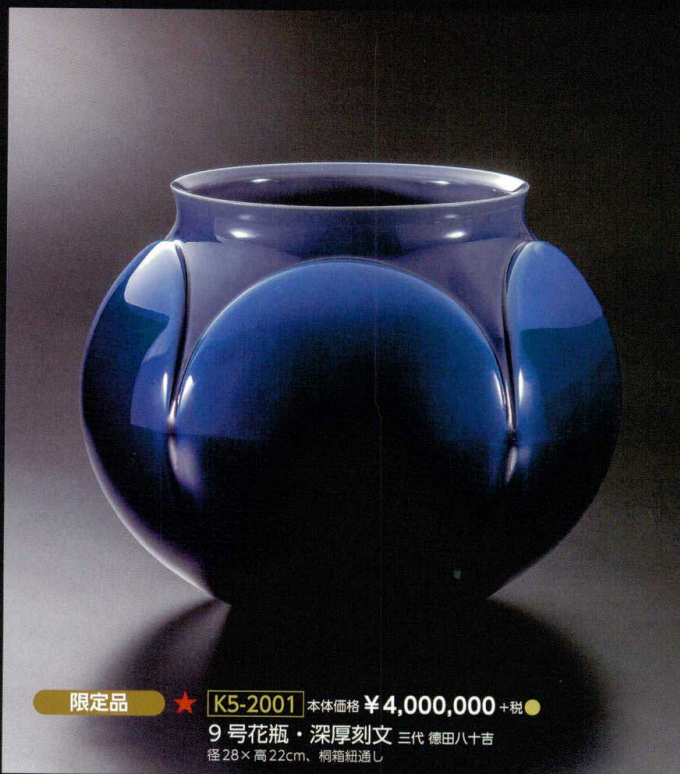


パンフレット番号	問合せ先	電話番号
20435-24	株式会社クイックパック	0564-59-3525

Kutani masters collection



限定品 ★ K5-2001 本体価格 ¥4,000,000 +税 ●
9号花瓶・深厚刻文 三代 徳田八十吉
径28×高22cm、桐箱紐通し

柳雨軒 三代 人間国宝

TOKUDA YASOKICHI

徳田 八十吉

昭和8年生

- 国指定重要無形文化財彩釉磁器保持者
- 日本伝統工芸展・審・鑑査員・特待
- 日本工芸会常任理事
- 一水会陶芸部運営委員

陶歴

金沢美術工芸大学中退後、祖父初代・父二代に師事
昭和46年 第18回日本伝統工芸展初出品作「彩釉鉢」
優秀賞「NHK会長賞」受賞
昭和52年 第24回日本伝統工芸展出品作「耀彩鉢」
最優秀賞「日本工芸会総裁賞」受賞
昭和53年 日本伝統工芸展特待、鑑査員に推挙
昭和61年 エジプト・カイロにて個展 以後海外展多数
昭和63年 三代八十吉を襲名する
平成3年 第11回日本陶芸展推薦出品作「創生」
グランプリ「秩父宮賜杯」受賞
国際文化交流が認められ「外務大臣表彰」を受く
平成5年 紫綬褒章受章
平成9年 国指定重要無形文化財
彩釉磁器保持者（人間国宝）に認定
第10回「MOA岡田茂吉賞大賞」受賞
平成17年 小松市に於ける5人目の「名誉市民」に推挙
九谷焼技術保存会（県無形文化財）会長に推薦

作家作品・ぐい呑み



限定品 ★ K5-2002 本体価格 ¥2,500,000 +税 ●
15号飾皿・太公望 三代 橋田与三郎
径46×深11cm、桐箱紐通し

道開四代 三代

HASHIDA YOSABUROU

橋田 与三郎

陶祖神社祭神 齊田伊三郎（道開）は文政の頃、飯田屋窯について赤絵細書を修め、画道修行のための諸国遍歴の後、天保年間佐野窯を興して、二度焼を創始して、赤細書の画風を完成した。祖父初代与三郎は、叔父にあたる道開の門に入り、道開の後継者として70余年生涯を赤絵細書一筋に生き、その卓越した技術と画風をあますところなく受継ぎ赤絵細書の名人とも云われる。

父二代与三郎も赤絵細書の画道に進み特に優れた天分にも恵まれ、祖父の厳格峻烈な指導と相俟って大成し、傑出した画才と逸筆の妙は他の追随を許さぬものあり。

私三代与三郎は10歳にして父の陶房に入り厳しい修行を受け、一途に赤絵細書の道を進み昭和17年赤絵細書の技術が認められ、商工省より工芸技術保存の認定を受ける。昭和21年昭和天皇陛下御前に於いて制作天覧の栄に浴す。

赤絵細書の手法は、赤と金色のみをもって繊細にして精緻な描画による密画である。ことに人物、花鳥、山水、古紋等々多種有り是を得意とする。